

知的障害養護学校における、  
諸団体とコラボした  
「環境学習」の実践事例

大学コンソーシアム石川「ESD講座」  
2009/11/8  
石川県立明和養護学校  
池田 陽一

はじめに・・・知的障害とは (文部科学省HPより)

記憶、推理、判断などの  
知的機能の発達に  
遅れがみられ、  
社会生活などへの適応が  
難しい状態

石川県内の知的障害養護学校



明和養護学校の紹介

- ・ 学校所在地:野々市町中林4-70
- ・ 知的障害のある子どもたちを対象
- ・ 本校には、小学部、中学部、高等部の3学部と訪問教育、(石川療育センター内に)分教室
- ・ 寄宿舎
- ・ 幼児教育相談室「ぼっぼ」、巡回相談、専門相談
- ・ 教員数130名(管理職等を除く)  
児童生徒数206名

知的障害養護学校にも環境教育

社会全体が“環境対策時代”

知的障害のある子どもたちにとっても無縁ではない  
(卒業したら、その社会に出るわけです)

(可能な範囲で)  
環境保全活動のできる児童生徒の育成

知的障害養護学校の  
環境保全実践における課題

- ① 知的障害(+他の障害)がある子ども達
- ② 知的障害教育の最大の難しさは「般化」
- ③ 毎年「3分の1」が異動する先生方

「通常の学校」とは異なる取り組みも  
求められる

## 環境教育推進委員会(教職員側)発足

- 平成15年10月 環境教育推進法 施行
- 平成15年度途中に準備委員会が発足
- 翌16年度「環境教育推進委員会」が正式に発足
- 児童生徒および教職員が、
- 環境と人間の関わりについて関心と理解を深め、
- 豊かな自然を愛し、地球環境の保全に主体的に取り組む態度を育成するため、
- 本校での環境保全活動を積極的に推進することを目的とする(明和養護学校「学校管理計画」より)



## 今回の諸団体とのコラボ環境教育の実践

- 1 きっかけ
- 2 学習計画
- 3 校内のコンセンサス



## 2 学習計画

### (1)【年度初め】

今年度の「総合的な学習の時間」の年間計画策定  
→今年度の高1は“環境”をテーマとすることに  
→時期は、池田希望の夏休み以降とする  
(夏休みにアビタで「お店探検隊」が行われるため)

※本校高等部では、年度初めに「国際交流」「健康」「環境」の3つから、生徒達がまだ行っていないテーマを選ぶという仕組みになっている。→来年度の検討項目のひとつ

### (2)【5月中旬までに】

- 「アビタ松任店」とコラボできる場合
- 「アビタ松任店」とコラボできない場合
  - 両方の全体計画(概略)案作成
  - 先生方の了承

### (3)「石川県環境部」に

- 「ユニ株式会社環境社会貢献部」との間に  
入っていただくことを依頼。
- 金沢エコライフくらぶ: 青海氏を紹介される

**(4)「お店探検隊」へ  
特別見学させていただく**

平成21年8月6日  
アビタ金沢店

8月2日の  
アビタ松任店での  
「お店探検隊」時は出張中  
↓  
お店の違いに、後日、計画修正

**(5)【夏休みの見学後】環境学習全体計画(具体)案を提示**

- テーマ「より地球に優しい消費者になろう」
- 目的・地球に優しい努力をしているお店の具体的な取り組みを知る。  
-その上で、どういった買い方をすればよいかを考える。
- 校外学習の場所:アビタ松任店 明和側校外学習実施希望日:
- 全体計画(全10時間...校外学習実施日に第2~7時まで行う)
  - 第1時 全体説明(図書室を希望、池田担当)
  - 第2~5時 **アビタ松任店の見学 帰校後、給食**
  - 第6~7時 **グループ活動**  
(回答の確認。見学して思ったことや気づいたことの見学交換。  
生徒が撮影した写真についても同様。等)
  - 第8時 グループごとに発表練習
  - 第9~10時 発表直前練習と発表、全体のまとめ  
(図書室を希望、まとめは池田担当。「グリーンコンシューマー」  
「エコマーク」「プライベートブランド」「分別回収」などの中から)

**(5)【夏休みの見学後】環境学習全体計画(具体)案を提示**

第1回の4者打合せ(8月27日)→

- ユニー側をお願いしたこと
- 3グループに分かれて見学  
【Aグループ】...報道が来ても保護者がOKである生徒達のグループ  
【Bグループ】...保護者が写真等掲載を断っている生徒を中心としたグループ  
【Cグループ】...知的障害が重度な生徒のグループ
- 知的障害児への工夫  
①画板(学校側用意)だと不安定な生徒 → 教師やできる生徒が支える  
②回答の視覚化 → 教師が振り仮名付き回答をスケッチブックに用意  
③記憶のカバー → 学校側用意のデジカメで、気づいたら撮影  
④回答の細かい数字の省略(小数点以下の省略)

**(6)事前打合せ・授業参観**

- 4者打合せ...計3回
  - 8月27日(ユニー北陸本部での打合せ)
  - 9月10日(アビタ松任店での打合せ)
  - 10月9日(アビタ松任店でのグループ別リハーサル)
- 授業参観
  - 9月28日(月)本校文化祭りリハーサル
  - 10月7日(水)本校高等部1年  
Iコース授業「生活」「音楽」→
  - 10月14日(水)環境学習(第1時)
  - 11月25日(水)環境学習(まとめ)

**3 校内のコンセンサス**

- 平成16年度発足の「環境教育推進委員会」  
→発足以来、池田がチーフ  
→休日を利用した取材、授業グッズの作成  
→保護者や教員、来校者向け「広報」「掲示」  
→「環境」=「池田」
- 高1教員団...コンセンサスがすぐ得られた。
- 管理職...個人情報保護ポリシーについて十分な協議をした。

**さいごに...ユニーの担当者の言葉**

**「今回のプロジェクトは、  
我が社の社会貢献でもありますが、  
社員教育にもなります。  
どんなお客様にも対応できる力を  
養えるチャンスなのです。」**



### 関係HP、メルアド

- 「ブナの中庭で」 <http://blog.goo.ne.jp/repu>
- 「ユニー株式会社:環境への取り組み」  
<http://www.uny.co.jp/corporate/torikumi/eco/index.html>
- 明和養護学校の環境保全活動・環境教育  
『いしかわ環境情報交流サイト』  
→「みんなの情報」タブ→「明和」を入力し”検索”
- 池田連絡先 [ikeda\\_fy@ybb.ne.jp](mailto:ikeda_fy@ybb.ne.jp)